



なかしん

中小企業景況レポート

No.45 中栄信用金庫 地域支援部

2022年10月～12月実績と2023年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 2022年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 340社
回答企業数 322社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	89	94.6
卸売業	30	27	90.0
小売・飲食業	66	62	93.9
サービス業	52	49	94.2
建設業	63	62	98.4
不動産業	35	33	94.2
合計	340	322	94.7

◆10月～12月期の概況

～価格転嫁への動きが強まったことで景況感の改善に繋がる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は ▲10.6 を示し、前回調査（2022年7～9月期）に比べ 11.7 ポイントの改善となりました。

企業物価上昇への対応策として価格転嫁の動きが強まる中、製造業、卸売業を中心に売上増加、収益改善へと繋がった企業がみられたほか、飲食業では昨年と比べ少人数での忘年会予約状況に改善がみられる等、新たな日常に向けた個人消費行動の変化により、景況感は 2020年3月期のコロナウイルス蔓延以降の調査において最も良い数値となっております。

特別調査ではインボイス制度への理解度及び現状の取り組み状況に対する問いに対し、約8割の企業がインボイス制度について「ある程度認知している」と回答し、取り組み状況についても9割以上の企業が「既に取り組んでいる」または「取り組む意思がある」と回答しております。また、企業が外部機関に期待するサポート内容として、導入に向けた補助金情報や導入そのものに対する導入支援等、2023年10月の制度開始に向けて準備を進める企業が見受けられております。

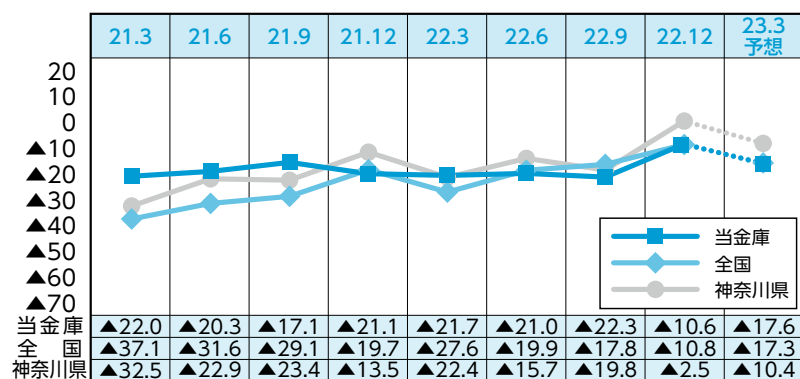
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 18.0 ポイント改善の 6.0、収益実績 D.I. は 9.3 ポイント改善の ▲10.3 となっております。仕入価格 D.I. は 2.4 ポイント改善の 76.6、資金繰り D.I. は 5.2 ポイント改善の ▲13.5、人手過不足 D.I. は 4.1 ポイント悪化の ▲32.8 となっております。また、業種別の景況感は製造業が 31.0 ポイント大幅改善の 18.1、小売・飲食業が 13.1 ポイント改善の ▲32.2、建設業が 13.0 ポイント改善の ▲4.9、卸売業が 1.5 ポイント小幅悪化の ▲22.2、サービス業が 4.8 ポイント悪化の ▲39.6、不動産業が 12.0 ポイント悪化の ▲6.1 となっております。（業種別の詳細につきましては、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 7.0 ポイント改善の ▲10.8、神奈川県内につきましては 17.3 ポイント改善の ▲2.5 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値につきましては信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は 7.0 ポイント悪化の ▲17.6、売上額 D.I. は 13.5 ポイント悪化の ▲7.5、収益 D.I. は 8.2 ポイント悪化の ▲18.5 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い ← → 悪い

製造業

概況

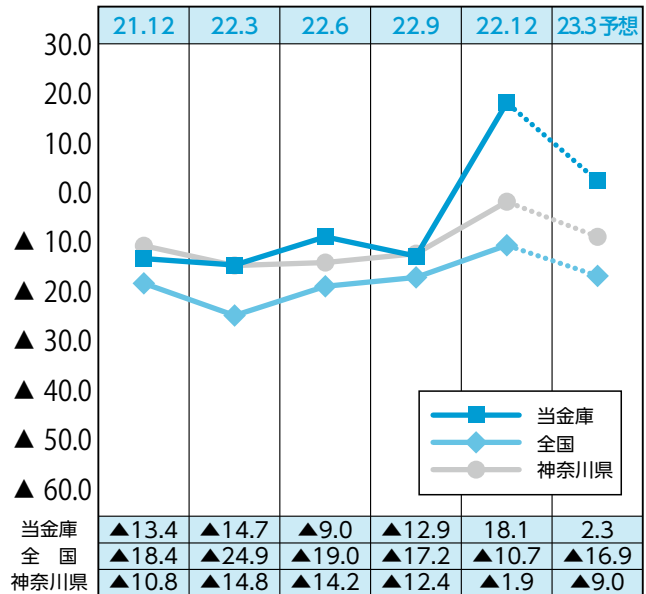
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 31.0 ポイント大幅改善の 18.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 37.8 ポイント大幅改善の 23.9、収益 D.I. は 23.2 ポイント大幅改善の 3.4 となっております。

コロナウイルス禍の影響が和らぎ、主要取引先からの受注回復や新規取引先の獲得に繋がったことに加え、原材料価格高騰を受け、販売価格への転嫁が徐々に進んできたことから収益の改善が図られた企業がみられております。また、一部企業においては、円安の影響により海外企業との商談が成立した企業も見受けられております。

今後につきまして、自動車部品製造業では、主要取引先において部品欠品リスクへの対応策として在庫を積み増して発注していることから受注量が増加傾向となっており、来期予想業況判断 D.I. につきましても 2.3 とプラス域での推移となっております。

なお、全国は 6.5 ポイント改善の▲10.7 となっており、神奈川県は 10.5 ポイント改善の▲1.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	24.4	37.3	38.3	D.I. ▲13.9
当期実績	45.4	33.1	21.5	23.9
来期予想	28.4	48.9	22.7	5.7
前年同期比	48.8	26.2	25.0	23.8

販売価格

前期実績	26.7	68.7	4.6	D.I. 22.1
当期実績	29.5	67.1	3.4	26.1
来期予想	12.5	83.0	4.5	8.0

在庫

前期実績	16.2	80.4	3.4	D.I. 12.8
当期実績	13.6	71.7	14.7	▲1.1
来期予想	12.5	73.9	13.6	▲1.1

人手

前期実績	8.1	60.6	31.3	D.I. ▲23.2
当期実績	7.9	54.6	37.5	▲29.6
来期予想	5.6	61.5	32.9	▲27.3

収益

前期実績	19.7	40.8	39.5	D.I. ▲19.8
当期実績	30.6	42.2	27.2	3.4
来期予想	19.3	53.5	27.2	▲7.9
前年同期比	37.5	26.2	36.3	1.2

原材料価格

前期実績	84.8	15.2	D.I. 84.8
当期実績	86.3	13.7	86.3
来期予想	75.0	25.0	75.0

資金繰り

前期実績	8.1	69.9	22.0	D.I. ▲13.9
当期実績	12.5	69.4	18.1	▲5.6
来期予想	11.3	71.7	17.0	▲5.7

設備状況

前期実績	3.5	75.4	21.1	D.I. ▲17.6
当期実績	3.4	73.9	22.7	▲19.3
来期予想	5.6	74.0	20.4	▲14.8

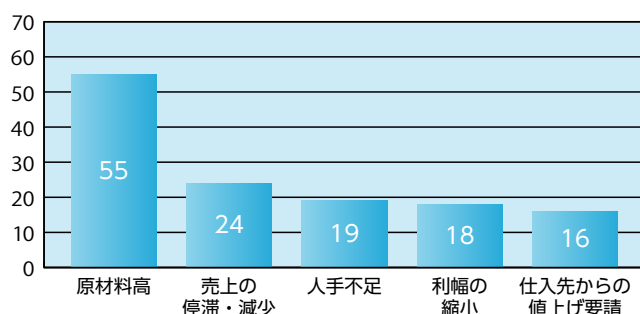
当期実績…2022年10～12月期
来期予想…2023年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

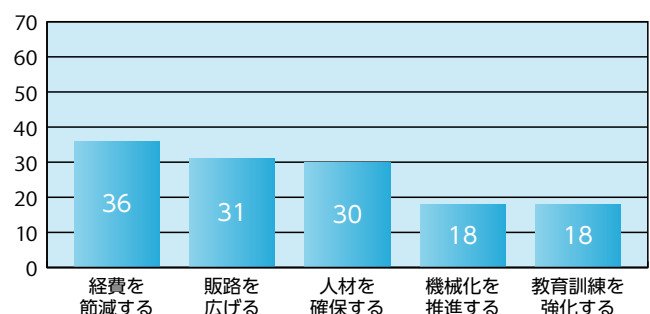
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

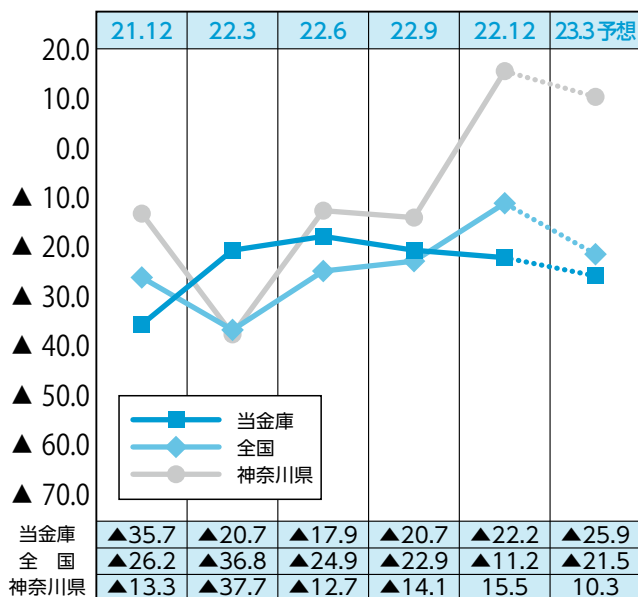
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.5 ポイント小幅悪化の▲22.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 42.9 ポイント大幅改善の 22.2、収益 D.I. は 24.2 ポイント大幅改善の 0.0 となっております。

食品卸売業では、原油価格、飼料価格上昇に伴う仕入価格高騰の影響を受ける中、販売価格への転嫁を進めた企業が見られたほか、建材卸売業においても首都圏エリアの動きが活発化したことによる既存取引先からの受注増加や新規取引先の獲得に繋がったことから売上額 D.I. および収益 D.I. は共に大幅な改善となりました。しかしながら、建材卸売業の一部企業では取引先の業況悪化により売掛金回収の目途が立たず、資金繰りに影響が出ている企業も見受けられております。

なお、全国は 11.7 ポイント改善の▲11.2 となっており、神奈川県は 29.6 ポイント大幅改善の 15.5 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.7 ポイント悪化の▲25.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	13.7	51.9	34.4	D.I. ▲20.7
当期実績	40.7	40.8	18.5	22.2
来期予想	33.3	44.5	22.2	11.1
前年同期比	25.9	37.1	37.0	▲11.1

販売価格

前期実績	51.7	44.9	3.4	D.I. 48.3
当期実績	48.1	40.8	11.1	37.0
来期予想	37.0	55.6	7.4	29.6

在庫

前期実績	6.8	89.8	3.4	D.I. 3.4
当期実績	11.1	88.9		11.1
来期予想	11.1	85.2	3.7	7.4

人手

前期実績	7.1	60.8	32.1	D.I. ▲25.0
当期実績	3.7	66.7	29.6	▲25.9
来期予想	7.4	55.6	37.0	▲29.6

収益

前期実績	6.8	62.2	31.0	D.I. ▲24.2
当期実績	25.9	48.2	25.9	0.0
来期予想	22.2	51.9	25.9	▲3.7
前年同期比	18.5	48.2	33.3	▲14.8

仕入価格

前期実績	79.3	20.7	D.I. 79.3
当期実績	70.3	26.0 3.7	66.6
来期予想	70.3	26.0 3.7	66.6

資金繰り

前期実績	6.8	62.2	31.0	D.I. ▲24.2
当期実績	7.4	59.3	33.3	▲25.9
来期予想	7.4	55.6	37.0	▲29.6

設備状況

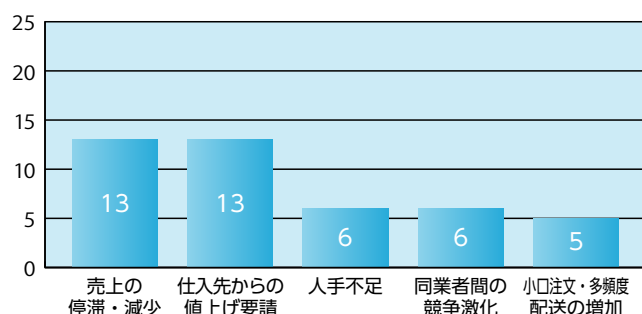
前期実績	3.7	77.8	18.5	D.I. ▲14.8
当期実績		88.9	11.1	▲11.1
来期予想	3.7	88.9	7.4	▲3.7

当期実績…2022 年 10～12 月期
来期予想…2023 年 1～3 月期

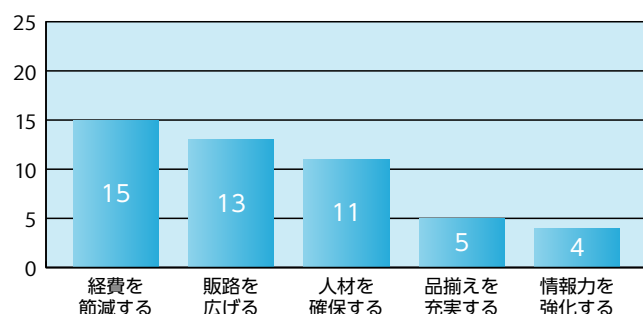
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.8 ポイント悪化の▲39.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.4 ポイント小幅改善の▲8.3、収益 D.I. は 3.3 ポイント改善の▲25.0 となっております。

宿泊業では、全国旅行支援が開始されたことで宿泊利用客数が増加し、売上増加へと繋がった企業が見受けられています。

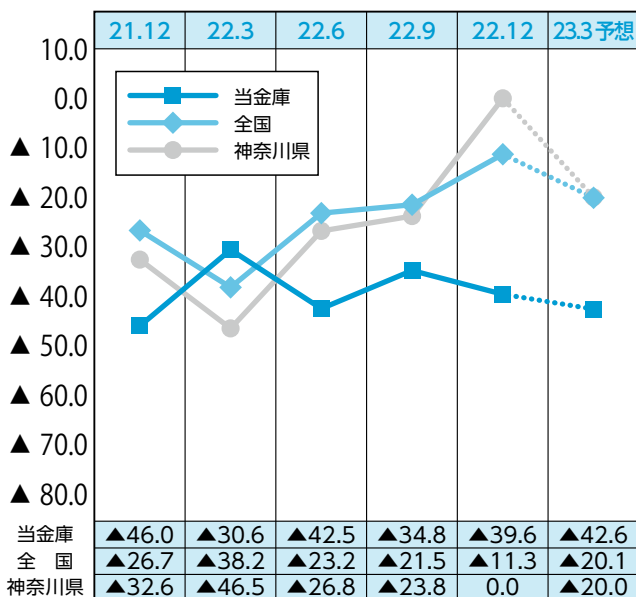
理美容業では、個人消費の冷え込みによる来店頻度の長期化に加え、消耗品の仕入価格高騰や光熱費等の上昇により収益環境が悪化している企業が見受けられています。

また、運送業では、燃料費高騰による輸送コスト上昇に伴い荷主との価格交渉を実施するも、価格転嫁が進んでいる企業は限られており、荷主の変更や配送路線の見直しによる経営努力に努めている企業が見受けられています。

なお、全国は 10.2 ポイント改善の▲11.3 となっており、神奈川県は 23.8 ポイント大幅改善の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.0 ポイント小幅悪化の▲42.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	23.9	43.5	32.6	D.I. ▲8.7
当期実績	22.9	45.9	31.2	▲8.3
来期予想	19.1	51.2	29.7	▲10.6
前年同期比	20.8	33.4	45.8	▲25.0

料金価格

前期実績	13.0	78.4	8.6	D.I. 4.4
当期実績	33.3	64.7	2.0	31.3
来期予想	23.4	74.5	2.1	21.3

資金繰り

前期実績	-2.1	58.8	39.1	D.I. ▲37.0
当期実績	-4.1	54.3	41.6	▲37.5
来期予想	-4.2	55.4	40.4	▲36.2

設備状況

前期実績	+4.3	71.8	23.9	D.I. ▲19.6
当期実績	+4.1	77.2	18.7	▲14.6
来期予想	+4.1	79.3	16.6	▲12.5

当期実績…2022 年 10～12 月期
来期予想…2023 年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

収益

前期実績	13.0	45.7	41.3	D.I. ▲28.3
当期実績	16.6	41.8	41.6	▲25.0
来期予想	14.8	38.4	46.8	▲32.0
前年同期比	14.8	32.1	53.1	▲38.3

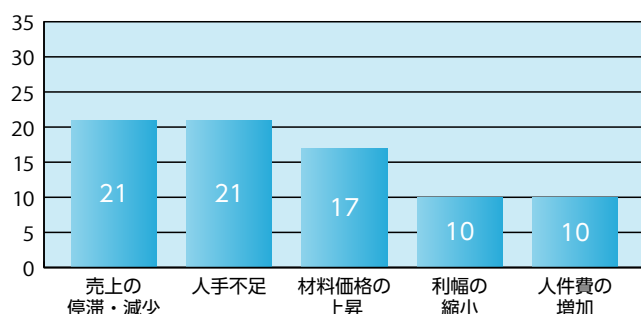
材料価格

前期実績	76.0	21.9	2.1	D.I. 73.9
当期実績	75.0	20.9	4.1	70.9
来期予想	65.9	29.9	4.2	61.7

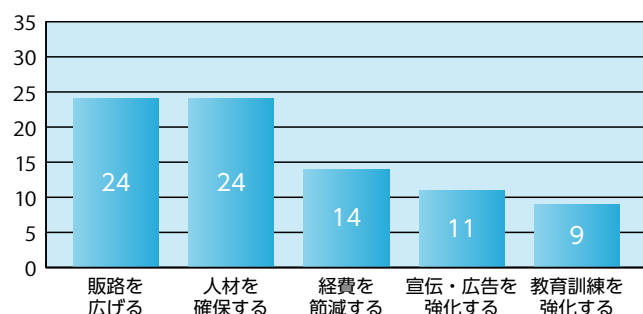
人手

前期実績	-2.2	51.2	46.6	D.I. ▲44.4
当期実績	-2.0	54.3	43.7	▲41.7
来期予想	54.2	45.8	▲45.8	

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.0 ポイント改善の▲4.9となりました。項目別では、売上額 D.I. は 5.1 ポイント改善の 3.3、収益 D.I. は 7.2 ポイント悪化の▲16.1 となっております。

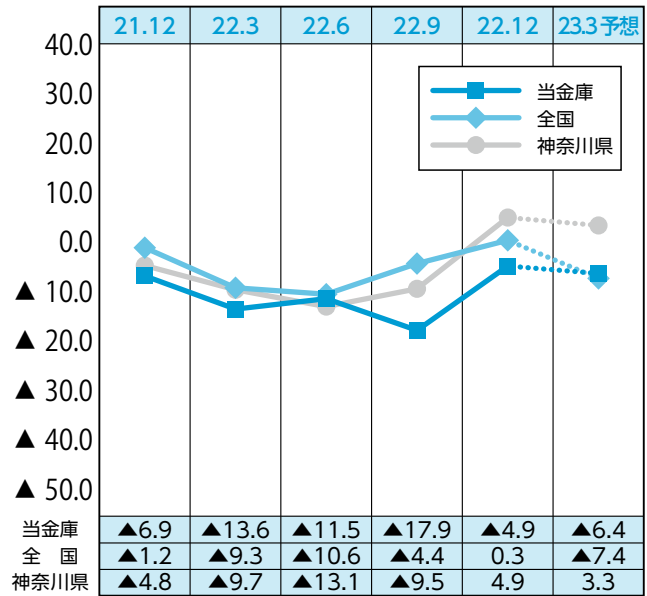
住宅関連の建設工事に加え、首都圏エリアにおいて工場の改修工事やビル建設などの動きが活発化したことで受注状況の改善が図られた企業がみられたことから業況判断 D.I. につきましては改善となっております。一方、原材料価格につきましては世界情勢の悪化や物流費の高騰などを背景に、継続的に価格が上昇しており、見積書の有効期限を短くするなどの対応策を講じている企業が見受けられております。

建設業においては、引き続き人手について厳しい状況が続いており、不足感が強まっております。

なお、全国は 4.7 ポイント改善の 0.3 となっており、神奈川県は 14.4 ポイント改善の 4.9 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 1.5 ポイント小幅悪化の▲6.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	28.5	41.2	30.3	D.I. ▲1.8
当期実績	27.4	48.5	24.1	3.3
来期予想	14.5	59.7	25.8	▲11.3
前年同期比	25.8	42.0	32.2	▲6.4

請負価格

前期実績	19.6	57.2	23.2	D.I. ▲3.6
当期実績	29.0	61.4	9.6	19.4
来期予想	19.3	69.5	11.2	8.1

在庫

前期実績	10.9	76.4	12.7	D.I. ▲1.8
当期実績	4.8	84.0	11.2	▲6.4
来期予想	3.2	87.2	9.6	▲6.4

人手

前期実績	5.3	57.2	37.5	D.I. ▲32.2
当期実績	51.7	48.3		▲48.3
来期予想	56.5	43.5		▲43.5

収益

前期実績	21.4	48.3	30.3	D.I. ▲8.9
当期実績	12.9	58.1	29.0	▲16.1
来期予想	8.0	64.6	27.4	▲19.4
前年同期比	19.3	42.0	38.7	▲19.4

材料価格

前期実績	87.5	10.8	1.7	85.8
当期実績	80.6	17.8	1.6	79.0
来期予想	72.5	25.9	1.6	70.9

資金繰り

前期実績	1.7	78.7	19.6	D.I. ▲17.9
当期実績	6.4	77.5	16.1	▲9.7
来期予想	6.4	80.7	12.9	▲6.5

設備状況

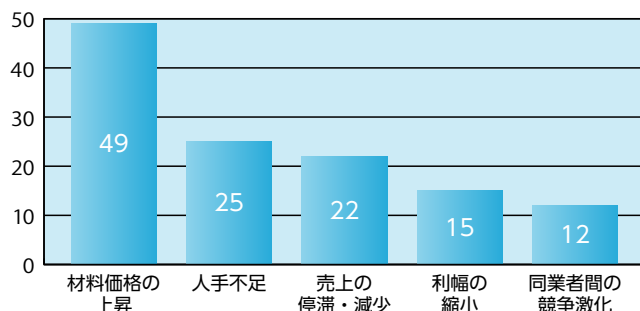
前期実績	1.8	92.8	5.4	D.I. ▲3.6
当期実績	3.2	90.4	6.4	▲3.2
来期予想	3.2	90.4	6.4	▲3.2

当期実績…2022年10～12月期
来期予想…2023年1～3月期

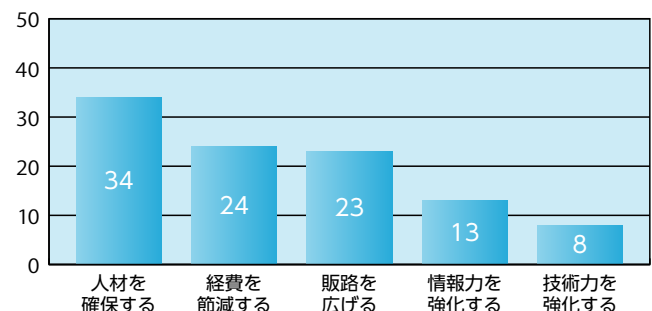
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

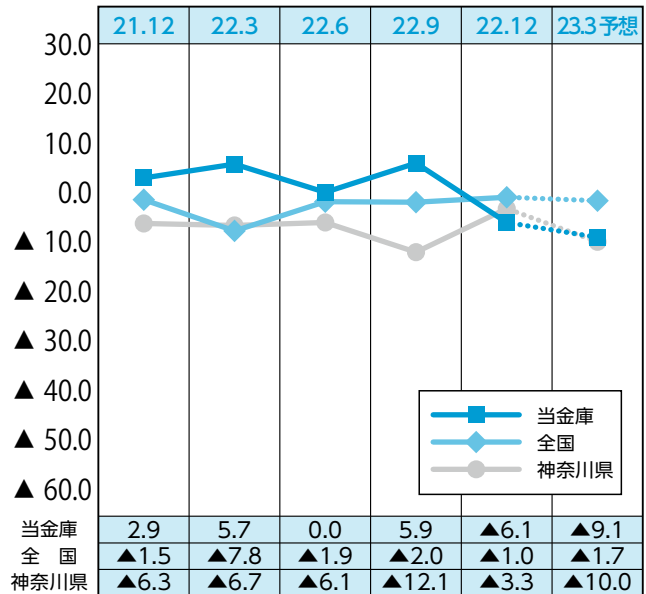
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 12.0 ポイント悪化の▲6.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 23.9 ポイント大幅悪化の▲15.1、収益 D.I. は 30.0 ポイント大幅悪化の▲18.2 となっております。

当金庫主要営業エリア内における不動産需要は引き続き高い水準で安定しており、商品販売期間は短期間での推移となっていることから、販売状況は好調である一方、商品仕入では市場の慢性的な商品不足に加え、他エリアからの不動産業者参入に伴い仕入価格高騰へと繋がり、仕入難易度が高くなったことで商品仕入が思うように進まず、保有商品不足による販売機会損失が生じており、売上額 D.I. 及び収益 D.I. が大幅に悪化したほか、業況判断 D.I. につきましても 2021 年 6 月期以来のマイナス域となっております。

なお、全国は 1.0 ポイント小幅改善の▲1.0 となっており、神奈川県は 8.8 ポイント改善の▲3.3 となっております。

来期の予想業況判断につきましては 3.0 ポイント小幅悪化の▲9.1 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	20.5	67.8	11.7	D.I. 8.8
当期実績	24.2	36.5	39.3	▲15.1
来期予想	15.1	54.6	30.3	▲15.2
前年同期比	30.3	30.4	39.3	▲9.0

販売価格

前期実績	32.3	61.9	5.8	D.I. 26.5
当期実績	42.4	42.5	15.1	27.3
来期予想	24.2	60.7	15.1	9.1

在庫

前期実績	38.3	61.7		D.I. ▲61.7
当期実績	33.4	66.6		▲66.6
来期予想	30.4	69.6		▲69.6

人手

前期実績	73.6	26.4		D.I. ▲26.4
当期実績	78.8	21.2		▲21.2
来期予想	81.9	18.1		▲18.1

収益

前期実績	23.5	64.8	11.7	D.I. 11.8
当期実績	24.2	33.4	42.4	▲18.2
来期予想	15.1	48.6	36.3	▲21.2
前年同期比	27.2	36.5	36.3	▲9.1

仕入価格

前期実績	48.4	51.6		D.I. 48.4
当期実績	54.5	42.5	3.0	51.5
来期予想	39.3	57.7	3.0	36.3

資金繰り

前期実績	11.7	79.5	8.8	D.I. 2.9
当期実績	9.0	82.0	9.0	0.0
来期予想	9.0	85.0	6.0	3.0

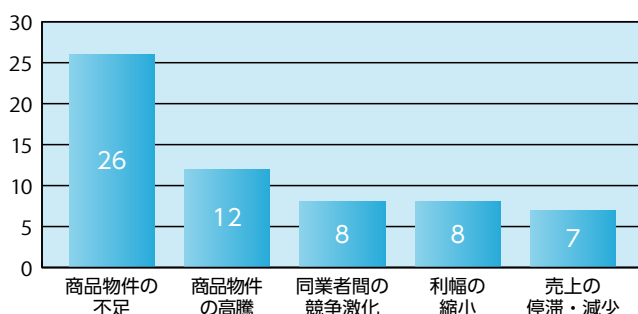
当期実績…2022 年 10～12 月期
来期予想…2023 年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

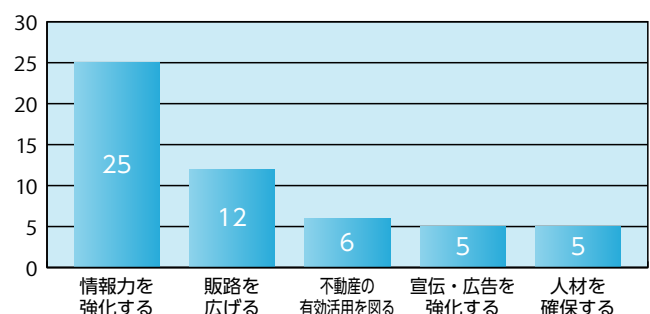
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 340 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社では、2023 年の日本の景気をどのように見通していますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-----------------------------|------|-----------------------------|-------|
| ☐ 非常に良い | 1 社 | ☐ やや悪い | 134 社 |
| ☐ 良い | 9 社 | ☐ 悪い | 79 社 |
| ☐ やや良い | 21 社 | ☐ 非常に悪い | 3 社 |
| ☐ 普通 | 65 社 | | |

問 2. 貴社では、2023 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-----------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| ☐ 非常に良い | 0 社 | ☐ やや悪い | 123 社 |
| ☐ 良い | 16 社 | ☐ 悪い | 23 社 |
| ☐ やや良い | 28 社 | ☐ 非常に悪い | 4 社 |
| ☐ 普通 | 117 社 | | |

問 3. 貴社における今期（10 月～12 月）の売上は、昨年同月期と比較した時、原材料価格及びエネルギー価格等の物価高騰や円安の進行に伴う影響をどの程度受けていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|--------------------------------------|------|--|-------|
| ☐ 70%以上の増加 | 1 社 | ☐ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 129 社 |
| ☐ 50%以上 70%未満の増加 | 4 社 | ☐ 10%以上 30%未満の減少 | 74 社 |
| ☐ 30%以上 50%未満の増加 | 18 社 | ☐ 30%以上 50%未満の減少 | 2 社 |
| ☐ 10%以上 30%未満の増加 | 82 社 | ☐ 50%以上の減少 | 1 社 |

問 4. 貴社では、今期（10 月～12 月）において、原材料価格及びエネルギー価格等の物価高騰や円安の進行に伴う影響に対しどの程度販売価格への転嫁をおこなっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|--|------|--|-------|
| ☐ 価格高騰分の 90%以上を転嫁できている | 18 社 | ☐ 価格高騰分の 10%以上を転嫁できている | 89 社 |
| ☐ 価格高騰分の 70%以上を転嫁できている | 15 社 | ☐ 価格高騰分をほぼ転嫁できていない（10%未満の増減） | 138 社 |
| ☐ 価格高騰分の 50%以上を転嫁できている | 20 社 | ☐ 10%以上販売価格が減少している | 6 社 |
| ☐ 価格高騰分の 30%以上を転嫁できている | 14 社 | ☐ 30%以上販売価格が減少している | 3 社 |

問 5. 貴社における来期（1 月～3 月）の売上は、昨年同月期と比較した時、原材料価格及びエネルギー価格等の物価高騰や円安の進行に伴う影響をどの程度受けると予想されますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|--------------------------------------|------|--|-------|
| ☐ 70%以上の増加 | 1 社 | ☐ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 147 社 |
| ☐ 50%以上 70%未満の増加 | 1 社 | ☐ 10%以上 30%未満の減少 | 76 社 |
| ☐ 30%以上 50%未満の増加 | 11 社 | ☐ 30%以上 50%未満の減少 | 5 社 |
| ☐ 10%以上 30%未満の増加 | 66 社 | ☐ 50%以上の減少 | 1 社 |

問 6. 貴社では、インボイス制度についてどのような理解度及び取り組み状況にありますか。「理解度」及び「取り組み状況」の内それぞれからあてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

インボイス制度に関する理解度

- | | |
|--|-------|
| ☐ 内容や取り組み目的について知っている | 101 社 |
| ☐ 内容についてはある程度把握している | 139 社 |
| ☐ 名前を聞いたことがある | 68 社 |
| ☐ 聞いたことがない | 4 社 |

インボイス制度への取り組み状況

- | | |
|--|-------|
| ☐ 既に取り組んでいる | 117 社 |
| ☐ 近々取り組む予定である | 94 社 |
| ☐ 現在取り組んではいないが今後取り組みたい | 81 社 |
| ☐ 今後も取り組む予定はない | 15 社 |

問 7. 貴社では、インボイス制度について外部機関（公的、民間問わず）からどのようなサポートを期待しますか。あてはまるものを最大 3 つまで選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------------------------------|------|-----------------------------------|-------|
| ☐ 制度導入にむけた補助金情報 | 80 社 | ☐ セミナー開催 | 48 社 |
| ☐ 制度導入に係る導入支援 | 58 社 | ☐ 制度導入に係る資金調達 | 19 社 |
| ☐ 制度導入後の運用支援 | 55 社 | ☐ 利用したい支援はない | 109 社 |
| ☐ 個別相談会開催 | 50 社 | ☐ その他 | 12 社 |